

次の――部分について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。
カタカナは必要な場合は送りがなをつけて漢字に直して書きなさい。

1

五年生までに学習する漢字の問題

- ① 全員がすぐに承知した。
- ② 料理人を志す。
- ③ 話し合いを重ねる。
- ④ 二つの案を検討する。
- ⑤ めずらしい植物を採集する。
- ⑥ 勢いよく走り出す。
- ⑦ ピョウインに行く。
- ⑧ コキユウを整える。
- ⑨ カラスの数がヒジヨウに多い。
- ⑩ 司会をタントウする。
- ⑪ かぜをヨボウする。
- ⑫ ストップウォッチで時間をハカル。

2

六年生に学習する漢字の問題

- ① 将来について考える。
- ② 至急、メンバーを集める。
- ③ 規則を定める。
- ④ 言葉の使い方を誤る。
- ⑤ 入場をキョカする。
- ⑥ 食器をアラウ。
- ⑦ コマツタ顔をする。
- ⑧ 不要品をステル。

⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学生になって一か月、今、ぼくが目指していることは、サッカー部の活動と勉強の両立です。
 小学生のときから、地域のサッカークラブで練習していたぼくは、中学校でもサッカーを続けようと決めていました。
 サッカー部は、毎日朝練習もあるので、一日が終わるとくたくたになっていることも多いです。しかし、試合に出場するキカイがあったら、必ず活やくできるように、自分にきびしく練習をがんばっていきたいです。
 いっぽう、中学校での勉強も始まりました。毎日新せんな気持ちで授業を受けています。これから内容も難しくなり、進み方も速くなっていくそうです。だから、一日一日、「生けん命取り組まなければならない」と思っています。
 ぼくは、サッカーも勉強もおろそかにしない中学校生活を送りたいと思っていて、自分に合った勉強の仕方を身につけようと思います。
 勉強と部活動を両立させる、これが今のぼくの課題です。

(1) 文章中の「部ア」「キカイ」と同じ漢字を用いるものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 自動車工場ではキカイ化が進んでいる。
- 2 絶好のキカイをのがしてはいけない。
- 3 父の会社ではキカイの部品をつくっている。
- 4 体育の時間にキカイ体操の練習をする。

(2) 文章中の「部イ」「きびしく」について、次の問いに答えなさい。

- ① 「きびしく」を漢字に直して書きなさい (送りがないも書きなさい)。
- ② 「きびしく」の反対の意味で使われている言葉を、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。
- 1 母の手はあたたかい。 2 運動場の土はやわらかい。
- 3 ひもの結び目がゆるい。 4 祖父母は孫にあまい。

(3) 部「生けん命取り組まなければならない」とありますが、次のうち、「生けん命取り組む」という意味をもつ慣用句はどれですか。あてはまるものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 身にあまる
- 2 身にしみる
- 3 身を入れる
- 4 身を立てる

(4) ~~~~~部の文について、「そこで」を使って、意味を変えずに二つの文に分けて書きなさい。

(4)		(3)	
(二文目)		(2)	(1)

4 次は、中西さんが放送委員としての一年間の目標について書いた文章です。
ア・イ・ウ の中に入るふさわしい言葉を、あとの1から5までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

【中西さんが書いた一年間の目標】

わたしは、放送委員としての一年間の目標を二つ立てた。
一つは、みんなが時間に合わせて学校生活を送ることができるように、放送をする時こくをしつかりと守ることである。ア、朝や昼、帰りに放送をする時こくをメモに書き、こまめに時計を見て確かめようと思う。
イ、放送を聞いている人に、内容を正しく伝えることができるように、話し方をくふうすることである。
そこで、放送をする前に、原こうを読む速さや間の取り方を練習しようと思う。

ウ、二つの目標の達成を目指して、一年間努力していきたい

- 1 以上のように
- 2 その理由は
- 3 そのために
- 4 反対に
- 5 もう一つは

ウ	イ	ア

5 次は、新聞委員の北川さんが「一年生をむかえる会」の様子を伝えた、学校新聞の記事の下書きの一部です。――部を「一年生が」を主語にして書きかえます。

あとの [] の中に入るふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きましよう。

【北川さんの下書きの一部】

元気いっぱい一年生みんなの仲間入り！

四月十二日、きれいにかざった体育館で「一年生をむかえる会」がありました。進行係の合図のあと、六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。体育館いっぱいにひびきわたるたくさんのはく手。九十二人の一年生は、みんなにこにこ顔。
〜 (下書きが続く) 〜

一年生が、 []、体育館に入場してきました。

[]

6

次の【文章の一部】は、六年生の高島さんが五年生のときから続けている放送委員の仕事について書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

(1) 【文章の一部】の中には、いくつかの文があります。それぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

(2) 【文章の一部】の中の——部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直します。つなぎ言葉には、「だから」を使います。

① 一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「だから」に続く七文字を書きましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

② ——部を二つの内容に分けると、「だから」と同じような意味の別の言葉を使うとすると、どのような言葉がふさわしいですか。次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 ところで
- 4 それで

(1) 放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

新しく委員になった五年生は、 (中略)

。だから、

(中略) (中略) 教えてあげたいと思った。

(2)		(1)
②	①	
	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	